

第3編 近世

はじめに

第1章 豊臣政権下の三股地域

第1節 島津氏の豊臣政権降伏と三侯院

1 島津氏の九州制覇

伊東氏との争い / 島津氏の九州北部への進攻

2 島津氏の政権服属

豊臣軍との戦い / 島津義久の降伏 /

島津氏存続のための条件

3 北郷氏の動向と三侯院

豊臣軍への徹底抗戦 / 変化する豊臣政権の対応 /

北郷氏の処遇 / 島津宗家降伏後の北郷氏の動向

第2節 太閤検地と三侯院

1 太閤検地と北郷領の再編成

島津領の太閤検地 / 三侯院での検地 /

検地に対する家臣団の反発 / 検地後の所領配当 /

島津氏内部の関係崩壊

2 島津氏家臣団の「所替」と北郷氏

島津領国の石高 / 家臣団の所領替えと北郷氏 /

北郷氏の祁答院移動

3 伊集院氏の入部

伊集院忠棟について / 伊集院氏の都城入り

第3節 朝鮮出兵と三侯院

1 文禄・慶長の役と島津氏

文禄の役と島津氏 / 慶長の役と島津氏

2 北郷氏の動向

北郷氏と朝鮮出兵 / 忠虎による知行宛行

3 伊集院氏の動向

軍役を満たせない朝鮮出兵の動員 / 在陣の様子

4 三侯院からの出兵

第4節 伊集院氏の支配と三俣院

1 伊集院氏の所領支配

伊集院氏の知行宛行

2 伊集院氏の支配体制と家臣団組織

伊集院氏の家臣団編成 / 伊集院氏の支配形態

3 伊集院氏支配期の梶山城

第5節 庄内の乱

1 伊集院忠棟の殺害

殺害の遠因 / 島津忠恒による忠棟殺害

2 乱の概況

忠棟斬殺後の庄内 / 戦闘の様相 /

乱の長期化と政権の介入 / 乱の結末

3 伊集院忠真の都城籠城と三俣院

城郭整備の様子 / 梶山・勝岡衆と庄内の乱

4 乱後の顛末と伊集院氏・北郷氏

伊集院忠真の配置替え / 北郷氏の都城復帰

5 庄内の乱の歴史的意義

近世における伊集院忠棟の評価 / 近年の評価

第6節 関ヶ原の戦い

1 概況

中央の動向 / 島津領国の状況

2 北郷氏の関ヶ原参戦と三俣院

関ヶ原の戦いと島津氏の動向 / 北郷氏と関ヶ原

3 戦後交渉と北郷氏

戦後の島津氏と徳川氏 / 不安定な島津氏の支配基盤 /

日向方面の動向 / 三股地域と関ヶ原

第2章 江戸時代

第1節 鹿児島藩の成立

1 徳川幕府の政権構想と鹿児島藩の成立

徳川幕府の成立 / 徳川幕府の政権構想 / 鹿児島藩の成立

2 近世大名島津氏の家臣団編成

近世大名島津氏と家臣団 / 寛永期の家臣団編成

3 琉球出兵

琉球の位置 / 琉球出兵の目的 / 琉球出兵 / 琉球出兵と北郷氏

4 外城制度の成立

鹿児島藩の外城制

第2節 藩政の展開と都城・三股地域

1 直轄領と私領

鹿児島藩の石高と領域 / 近世の三股地域 /

地頭の変遷 / 三股地域の村高 /

都城島津家領の石高変遷と勝岡外城の成立

2 鹿児島藩による領内編成と北郷家

島津氏の領内編成と北郷氏 / 北郷家の家臣と島津氏 /

鹿児島藩の秩序形成 / 北郷氏の近世的変容

3 都城島津家の創出

(1) 藩による都城上置の設置

北郷忠能の死と忠亮の家督相続 /

鹿児島藩と都城家老の人事 / 家久訓戒後の北郷家 /

藩主の子久直の都城領主就任と上置の設置 /

鹿児島藩の家臣団編成と都城

(2) 中抑の設置と都城

上置の設置と中抑 / 中抑設置の事情 /

中抑の役割の変遷 / 中抑の選任方法

(3) 都城島津家の創出

都城領主の後継問題 / 都城島津家の創出

(4) 近世の街道と番所

鹿児島藩の街道 / 番所・辺路番所 / 往還

第3節 国絵図作成と飢肥藩との境争論

1 国絵図作成事業

国絵図と郷帳 / 慶長国絵図と元和・寛永国絵図 /

正保国絵図 / 元禄国絵図

2 諸国巡見使

3 飢肥藩との境争論

争論の概要 / 争論場所の状況 / 寛永期の争論 / 櫛ヶ峠争論 /

新たな訴訟—飢肥藩による訴訟の動き / 鹿児島藩の対応 /

訴訟の開始 / 鹿児島藩による訴訟の準備 /

梶山と北河内住民の相談 / 第一回目の立合 /

その後の立合から争論の決着へ

第4節 農政の展開

1 領内惣検地の目的と意義

鹿児島藩の領内惣検地 / 太閤検地による領内の混乱 /
慶長内検 / 元和の上知令から寛永内検へ /
近世初期の農政と万治内検 / 享保内検

2 藩による農政の展開

藩農政機構の推移 / 郷村における農政機構 /
人配政策と災害対策 / 都城・三股地域における人配 /
鹿児島藩の新田開発 / 都城地域の新田開発 /
都城・三股地域の灌漑事業

3 村の支配

肝煎から庄屋へ / 庄屋の任命権者 /
庄屋に就任する郷土の階級 / 庄屋の役高 / 庄屋の任期 /
庄屋の人数 / 庄屋の役割 / 庄屋と百姓 / 庄屋の位置づけ

4 門割制度

(1) 門と門割制度

門割制度の概要 / 門割の実態

(2) 都城・三股地域の門

三股地域の門 / 「諸村門名調帳」にみる門 /
「庄内地理志」にみる門 / 「重久文書」にみる門

第5節 都城・三股地域の人々の暮らし

1 村における郷土と百姓

(1) 鹿児島藩の郷土と百姓

鹿児島藩の郷村支配 / 郷土と百姓の存在形態 /
都城島津家領上長飯一揆にみる郷土と百姓

(2) 三股地域における郷土と百姓の暮らし

三股に移住した人々 / 梶山郷土の生活 / 農民の生活

2 諸産業の展開

鹿児島藩の諸産業 / 都城・三股地域の産物 /
名品「都城茶」の確立 / 都城・三股地域の代表的産物 / 焼物

3 教育の展開

鹿児島藩の郷中教育 / 都城学問所の設立 / 明道館の理念 /
都城・三股地域の民衆の教育

4 田の神信仰と農民文化

タノカンサア（田の神様）とは / タノカンサアの種類 /

仏像型系統のタノカンサア / 神像型系統のタノカンサア /
都城・三股地域の田の神信仰とタノカンサア /
タノカンサアの成立した時期 / タノカンサアを作るきっかけ /
タノカンサアに込められた願い / タノカンサアを作った人々

5 災害と民衆

災害の多い鹿児島藩 / 桜島の大噴火 / 風水害 /
霧島の噴火 / 干害 / その他の災害
コラム② 人々の暮らしを伝える「重久文書」

第6節 宗教政策と領民支配

1 幕府と鹿児島藩の宗教政策

幕府の宗教政策 / 鹿児島藩の宗教政策

2 近世の神社と寺院

三股地域の神社 / 三股地域の寺院
コラム③ 三股の石工たち

3 一向宗の禁制

一向宗の伝来 / 一向宗禁止の理由 / 一向宗の浸透 /
鹿児島藩による宗教政策の動向 / 家臣団編成と一向宗の禁止

4 かくれ念仏と薩州内場仏飯講

(1) かくれ念仏

かくれ念仏と講 / カヤカベ教 / 信者の弾圧 /
天保期の三股での一向宗の取り締まり

(2) 薩州内場仏飯講

薩州内場仏飯講とは /
「仏飯講古系図」にみる薩州内場仏飯講の由来 /
「仏飯講古系図」にみる薩州内場仏飯講の展開 /
石碑にみる仏飯講

第7節 幕藩制の動揺とその対応

1 藩財政の逼迫

多発する自然災害 / 農村の荒廃 / 藩財政の逼迫 /
都城島津家の財政状況

2 島津重豪の開化政策

島津重豪の藩主就任 / 重豪による藩政改革の開始と人材登用 /
学校等の設立 / 重豪による藩内秩序の強化 /
都城島津家における階層秩序の強化 /
重豪による開化政策

3 農村支配の強化

農政の乱れ / 農村支配の引き締め / 商品生産の推進

4 財政再建の行き詰まり

農政の行き詰まり / 災害の頻発 / 過重な御手伝い普請 /
近思録党 / 近思録党の藩政改革 / 近思録崩れ

第8節 幕藩制の崩壊と都城・三股地域

1 藩政の混迷と天保改革

藩財政破綻の構造 / 重豪の再登場と財政の破綻 /
天保改革の開始 / 天保改革の推進 / 改革の概要 /
三島における黒糖地獄 / 軍制改革 / 給地高の改正 /
改革の挫折

2 外圧と島津斉彬の改革

(1) 近世後期の社会状況

内憂 / 外患 / 鹿児島藩領域と都城・三股地域の社会状況

(2) 島津斉彬の藩主就任

調所の改革と幕府との相克 / 嘉永朋党事件と斉彬の藩主就任

(3) 黒船来航と幕府の動揺

欧米列強の接近 / 鹿児島藩における外国船来航問題 /
琉球問題と海防体制 / 斉彬の領内巡見 / 斉彬の都城地域巡見 /
斉彬の富国強兵策と集成館事業 / 斉彬による農政と常平倉

3 幕末の政局と都城・三股地域

(1) 幕末の政局

戊午の密勅 / 安政の大獄と桜田門外の変 /
島津斉彬の死と誠忠組 / 島津久光の登場 /
久光上京と寺田屋の変 / 久光の幕政改革 /
島津久光と西郷隆盛 / 生麦事件

(2) 幕末の都城・三股地域

都城島津家の領政改革 / 都城島津家の近代化事業 /
島津久静 / 誠忠派と義烈塔 / 島津久静の率兵上京

4 戊辰戦争と幕藩制の崩壊

(1) 幕末政局と戊辰戦争

長州藩と鹿児島藩 / 公武合体運動と倒幕 / 戊辰戦争

(2) 都城・三股地域の人々と戊辰戦争

戊辰戦争前の都城島津家 / 私領一番隊 / 都城六烈士斥候事件 /
都城島津家と戊辰戦争 / 三股地域の人々の戊辰戦争